

## 会 議 録

会議の名称	豊中市地域公共交通協議会		
開催日時	令和5年(2023年)11月2日(木) 14時00分 ~ 16時00分		
開催場所	豊中市役所第二庁舎5階第1会議室	公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可
事務局	都市基盤部交通政策課	傍聴者数	4人
公開しなかつた理由			
出席者	委員	猪井委員、野津委員(北野氏代理)、浜名委員、花田委員、阿瀬委員(松井氏代理)、安田委員、石崎委員、笠井委員、萩原委員、内田委員、中村委員(大石氏代理)、青野委員、看舎委員、中垣委員、中川(剛)委員、上北委員	
	事務局	福山次長兼交通政策課長、相良主幹、池永課長補佐兼交通企画係長、高鳥主査、穴井主査	
	その他	株式会社建設技術研究所	
議題	1. 乗合タクシー事業について 2. 公共交通改善計画について 3. 豊中東西線バスについて 4. 自転車活用推進について 5. 交通事業者の取組みについて 6. 今後のスケジュールについて		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

## 第 14 回 豊中市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時	令和 5 年（2023 年）11 月 2 日（木） 14 時 00 分から 16 時 00 分
場 所	豊中市役所第二庁舎 5 階第 1 会議室
出 席 者	猪井委員、野津委員（北野氏代理）、浜名委員、花田委員、阿瀬委員（松井氏代理）、安田委員、石崎委員、笠井委員、萩原委員、内田委員、中村委員（大石氏代理）、青野委員、看舎委員、中垣委員、中川（剛）委員、上北委員
欠 席 者	石塚委員、中川（義）委員、大南委員
事 務 局	都市基盤部交通政策課：福山、相良、池永、高鳥、穴井
傍 聴 者	4 人
案 件	1. 乗合タクシー事業について 2. 公共交通改善計画について 3. 豊中東西線バスについて 4. 自転車活用推進について 5. 交通事業者の取組みについて 6. 今後のスケジュールについて
資 料	【資料 1】豊中市地域公共交通協議会 名簿 【資料 2】乗合タクシー事業の運行内容見直しについて 【資料 3】計画の現状と中間評価について 【資料 4】計画の見直しの方向性について 【資料 5】車両大型化の検討について 【資料 6】自転車活用推進の取組みについて 【資料 7】交通事業者の取組みについて 【資料 8】工程表 【参考資料 1】豊中市乗合タクシーの利用状況 【参考資料 2】東西軸バス路線（豊中東西線）の利用状況 【参考資料 3】シェアサイクルの利用状況

会 議 録 下記のとおり

- 開会
  - 資料確認
  - 委員紹介
  - 会長挨拶
- 会長

バス路線の廃止やバス事業自体を撤退する等、地域の交通で乗務員不足に係る問題が各地で出てきております。また、阪急バスの路線が一部廃止になるということで、非常に公共交通に対する関心も高い状況になってきていると思います。交通にご関係の方、行政、市民の方がご参加していただいている会議でございますので、皆さまからご意見をいただきながら、公共交通を維持するところを考えていきたいと思っております。ぜ

ひ、皆様のご意見を賜りますよう宜しくお願い致します。

## ●道路運送法に係る経過報告事項

### 1. 乗合タクシー事業について

#### 事務局

(資料2について説明)

#### 会長

事務局にお問い合わせするが、南部地域路線及び西部地域路線の見直しは、この会議の場で合意をいただいたほうがよろしいでしょうか。

#### 事務局

今後、この素案をもとに、地元との意見交換会等を開催させていただきます。

#### 会長

地域公共交通協議会は、本年度内に開催するということがよろしいでしょうか。

#### 事務局

次回の地域公共交通協議会は、年明け頃(2024年1月頃)に開催したいと考えており、それまでに地元との意見交換会等でのご意見をもとに案としてまとめる予定です。

#### 会長

他、いかがでしょうか。

#### 委員

予約不要にすることは前向きな話で、すごいことだと感じました。コストとの関係を整理して、説明をする上で、予約制であったのを定時運行にすることがどういう事なのか、コスト面から伝わると良いと思いました。それは2点あり、コストを抑えるために予約制にしていたのを、予約なしで利用できるようになった利便さをお伝えしたいのが1点。続行便や2~4便の利用者が多いのは、予約しなくていいから多い可能性もあるとしたら、予約不要にしたらもっと利用者が増えて、続行便や車両を大きくするなどのコストがもっとかかる可能性もあります。収入は増えるが、コストも増えるという観点も確認が必要かと思います。

#### 会長

事務局としては、いかがでしょうか。

#### 事務局

利便性が上がればコストが上がるというのは、おっしゃるとおりです。現段階では、予約が入ると阪急タクシーの一般タクシー(乗用タクシー)を予約があった便のみ、乗合タクシーとして利用させていただいている。今後、順調に推移して利用が多くなり、車両の大型化が必要になった際は、乗合タクシー専用の車両やドライバーを阪急タクシーと調整できれば、コストを固定化することも可能かと考えます。

## 会長

この議題は、来年の1月頃開催予定の会議でも協議するので、お気づきの点があれば、事務局にご意見をお願いします。

## ●報告案件等

### 2. 公共交通改善計画について

#### 事務局

(事務局より資料3、資料4の説明)

## 会長

何かご意見ご質問は、ございませんでしょうか。

## 委員

資料4の2ページ目にある利用特性と輸送形態による公共交通手段の位置付けの所で、新技術を活用した輸送手段(青色の交通モード)や必要に応じて活用を検討する輸送手段(白色の交通モード)とある。具体的にそういったものを組み合わせる主体として行政が動いていくのか。豊中市の認識としては、どういった所にあるのでしょうか。

#### 事務局

ここに記載されている新技術を活用した輸送手段(青色の交通モード)や必要に応じて活用を検討する輸送手段(白色の交通モード)を施策として実施するにあたっては、まだ具体的な方策はないのですが、社会情勢や技術的な革新も踏まえて、不便な所に新たな施策を進めることが出来ればと思います。こちらは初期は行政で取り組んでいく方向性もあるかと認識しています。

## 委員

了承いたしました。

## 会長

コロナでの影響で8割ほどしか戻っていない状況で、なかなか難しい所です。

話が脱線しますが、多くのバス事業者では乗務員不足が深刻化しており、乗務員の規模に応じて、路線の規模を縮小せざるを得ない状況となっています。例えば、運行本数や利用者が多く、儲かっている路線でさえも減便するケースが見受けられます。資料4の5ページの取組むべき施策案に、新たに追加で「乗務員確保に向けた支援」とあり、期待するところではありますが、乗務員確保に向けた支援というのは、具体的にどのようなものをお考えですか。

#### 事務局

現在、近隣市の情報収集の段階であり、ハローワーク(公共職業安定所)や交通事業者とタイアップをして、就職説明会開催を自治体のホームページや広報誌等で告知する等の事例を拝見したところです。

## 会長

最近の新しい取り組みとしては、三重交通株式会社と三重県桑名市が協定を組まれて、定年を迎えた消防職員で、消防自動車を運転するために大型自動車第一種免許を持った方に対して、職員が 60 歳を迎えた時に、希望すれば、在職中に大型自動車第二種免許を取ってもらって、退職後に三重交通のバス乗務員として 72 歳まで継続採用（雇用契約は 1 年ごとに更新）してもらおうという踏み込んだ所までされている市もある。アンテナを拡げていただいて、バス事業者やタクシー事業者とともに乗務員確保にご協力賜うよう、よろしくをお願いします。

## 委員

国でも免許取得費用や採用の為の費用など支援しています。我々も出来ることがあれば、連携したいと思っています。乗務員の業務環境をより今の時代に合ったものにする必要もある。その一環で、バスやタクシーの車内に乗務員の氏名を掲示する義務を廃止（令和 5 年 8 月の道路運送法に関わる施行規則の改正による）にしたのもそのひとつで、乗務員が安心して働けるような環境整備が進んでいます。国で決められたバスやタクシーでのサービスと、事業者がそれぞれご尽力いただいているサービスが色々あります。運転手になりたいという人を増やすために、時代に合ったサービスをどこまで願うか、ご利用者、事業者、行政の立場で、話せる場でどこまでの水準で、運転手の業務において願うかも、議論のひとつの目線としてあっても良いかと思いました。

### 3. 車両大型化の検討について

#### 事務局

（事務局より資料 5 の説明）

## 会長

何かご意見ご質問は、ございませんでしょうか。

## 委員

履正社高校の学生は、往復利用されているのでしょうか？

#### 事務局

往復でご利用いただいておりますが、比較すると行きの方が多くなっています。

## 委員

この路線は、昔阪急バスが走っていましたが（※阪急曾根駅～服部緑地（西側中央広場の西側付近）間を運行）が、あまり利用されていないとのことで廃止されたと記憶しています。定期券も使われているのでしょうか。

#### 事務局

交通系 IC 実績という形では、データが上がっていますが、いかがでしょうか。

## 委員

数字のデータは手元にはないのですが、定期券（hanica 通学定期券及び hanica 阪急スクールパス等）は一定数ご利用いただいています。先ほどご指摘のあった、路線廃止した件については、当時は阪急曽根駅から服部緑地公園へ乗り入れる路線があったのですが、服部緑地内の転回部分における路上駐車や周辺道路での渋滞による定時運行への影響も大きく、1日数便しか運行していませんでした。また、この路線は休日の輸送がメインであり、履正社高校の学生さんを対象に運行していなかったため、ご利用が少なく、廃止となった経緯があります。豊中東西線が運行開始する前、履正社高校の学生は、阪急曽根駅や北大阪急行緑地公園駅から徒歩で通学されておりました。豊中東西線は、バス事業者が思った以上にご利用いただいている状況です。乗務員の新たな投入なしで、車両の大型化により輸送力を高められるということであれば、ぜひ実現していけたらと思います。

## 委員

休日において、阪急曽根駅とイオンモール伊丹間の増便をされたことによって、利用者は増加しているのでしょうか。

## 事務局

今年の4月より休日のみ増便しております。交通系 IC カードの実績に基づく速報値ですが、4月までと比べると、利用者数が3割以上増加している。思っていた以上の反響と評価しています。

## 4. 自転車活用推進について

### 事務局

（事務局より資料6の説明）

## 会長

何かご意見ご質問は、ございませんでしょうか。

それでは、次の議題に入ります。

## 5. 交通事業者の取組みについて

### 事務局

（事務局より資料7の説明）

## 会長

何かご意見ご質問はございませんでしょうか。

## 委員

利用促進について、豊中市にも「夏バス わくわくキャンペーン」の PR にご協力いただきまして、ありがとうございます。今回の初めての取り組みとして、大きなメインだったのが、小学生対象の「夏休み子ども全線定期券」発売です。設定していた枚数は少なかったのですが、発売してからほぼ1週間で完売し、思ったより、大きな反響をいただきました。はんきゅうランドパス 65・70 における「環境おでかけ割」の適用については、何日間か調査をしたのですが、1日あたり約900人のご利用がありました。車内モニターキ

ワード応募企画については、応募が 4,000 件ありました。大変、ご好評いただいたので、今後もこういった取り組みを続けていきたいので、引き続き、豊中市に PR 等をご協力いただけますと有難い所でございます。宜しくお願い致します。

## 会長

他に何かご意見ご質問は、ございませんでしょうか。  
それでは、次の議題に入ります。

## 6. 今後のスケジュールについて

### 事務局

(事務局より資料 8 の説明)

## 会長

何かご意見ご質問は、ございませんでしょうか。  
何かご発言のお忘れはございませんか。

## 委員

私が、一番身近に興味を持ったのが、シェアサイクルです。今まで進めてきた工程が実感できるようなシェアサイクルのポートも自転車の台数も増えており、自転車が良く動いているのが分かります。朝早くにはポートに自転車があるのに、買物に行く時間にはないときもあります。活発に進んでいると感じ、私も参加しているので、興味深く眺めています。

## 会長

他、ご発言のお忘れはございませんか。  
事務局、議論のお忘れはございませんか。

### 事務局

事務局としましては、全て説明しております。

## 会長

ご参加の委員から何か情報提供はございますか。

## 会長

ありがとうございます。  
本日の案件は以上でございます。  
事務局より連絡事項をお願いいたします。

## ●閉会

### 事務局

以上をもちまして、第 14 回豊中市地域公共交通協議会を閉会します。次回の開催は、年明けの来年 1 月

頃に予定をしております。

以上